令和３年度

福井市木田小学校 スクールプラン

教育目標　**「心をみがき　学に勉め　自己を拓く　木田っ子の育成」**

＜福井市学校教育目標＞
郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成

＜福井市学校教育方針＞
地域に根ざす「学びの一貫性」

＜明倫中学校区重点テーマ＞
子どもたちの学びの質を向上させ、未来に向かってたくましく生きることができる力を育成する
- ○主体的、対話的学び
- ○他者との協働
- ○地域との連携

《めざす児童像》
- ○学ぶ子
- ○はげむ子
- ○元気な子

《校訓》
- ○誠　実
- ○勤　勉
- ○剛　健

《めざす学校像》
- ○生活や学びが子どもたちにとって楽しい学校
- ○「生きる力」や「豊かな心」が育まれる学校
- ○地域から信頼され、地域とともに歩む学校

《めざす教職員像》
- ○子どもの自主性、主体性を大切にする教職員
- ○子どもに対する愛情を持ち、仲間と協働できる教職員
- ○子どもの成長を長期的に捉え、支える教職員

＜保護者・地域の願い＞
- ・基礎・基本の確実な定着
- ・地域に誇りと愛着を持ち、地域に貢献できる子
- ・自ら考え行動できる子
- ・夢に向かって努力できる子

＜児童の実態＞
- ・規範意識が比較的高い
- ・思いやりの心を持って行動できる
- ・受け身的な傾向が見られる
- ・自分に自信がなく、行動が消極的な児童の割合が多い

重　点　目　標

確かな学力の向上
- ◎新学習指導要領の趣旨を踏まえた校内研究の充実
- ○授業を支える基礎力をつけるための工夫
- ○読書習慣を育む活動の推進
- ○学習ルールの共有と定着

豊かな心の育成
- ◎特別の教科「道徳」を生かした道徳教育の推進
- ○多様な集団の中で人間関係を築く場づくり
- ○道徳的実践の場の確保
- ○人権侵害の未然防止

健やかな身体の育成
- ◎落ち着いた生活習慣の醸成と危険を回避する能力の育成
- ○運動習慣の定着と体力向上
- ○「食」に関する教育の充実
- ○危機管理体制の整備

信頼される学校
- ◎保護者や地域との連携を密にした学校づくり
- ○地域の資源を相互活用した教育の創造
- ○家庭・地域への情報発信
- ○情報モラル教育の推進

具　体　的　な　取　組

確かな学力の向上
- ◎授業研究会も含め、月１回の校内研修の場を持つ
- ○主体的な学び、深い学びにつなげていくため、教え込まない授業の工夫を行う
- ○タブレットを活用した授業実践を行う
- ○高学年の教科担任制の可能性を探る
- ○学校司書との連携を強化し、読書習慣の定着を図る
- ○「学習準備の約束」「話の聞き方」「話し方」のルールを保護者と共有し定着させる

《数値目標》
- ・校内研修会（他の先生の授業参観・ミニ研修を含む）年間10回以上
- ・宿題以外の自分で考えた学習ができる児童 70%以上
- ・学校や家で本をよく読んでいる児童の割合 80%以上

豊かな心の育成
- ◎特別の教科「道徳」の効果的な授業研究を行う
- ○ふれあい班活動など多様な人間関係を育む活動を意図的に取り入れ、協調性、思いやりや自己肯定感を育む
- ○挨拶運動や無言集合、無言清掃、下足箱の靴の踵をそろえる活動などの意義を理解させ、継続的に取り組む
- ○いじめや人権侵害に関するアンケートを定期的に実施し、早期発見、解決に努める

《数値目標》
- ・道徳の授業を保護者に公開し共に考える機会を設ける。
- ・自分によいところがあると感じる児童の割合 80%以上
- ・毎日学校が楽しいと答える児童 90%以上

健やかな身体の育成
- ◎安全に生活するための学校でのルールを徹底させる
  - ・休み時間のルール
  - ・登校・下校でのマナー等
- ○体育的な行事や活動に目標を持って取り組ませ、体力の向上や健康的な生活に繋げる
- ○栄養教諭、養護教諭、担任等が連携して食を通した体づくりへの支援を行う
- ○災害など緊急時の保護者への引き渡し訓練を実施する

《数値目標》
- ・けが等による保健室利用児童数のべ 1500 人以下
- ・廊下を走らないなど学校生活のルールを守っている児童 90%以上
- ・毎日朝食をとる児童の割合 95%以上

信頼される学校
- ◎地域と連携した教育活動を積極的に展開し、地域やふるさとへの愛着や誇りを育てる
- ○地域の自然、人、社会を相互活用した教育活動を通して、社会に開かれた教育課程の構築に努める
- ○学年、学校便りやホームページを用いて教育活動について発信する
- ○木田小スマートルールの啓蒙と定着を図る

《数値目標》
- ・学校のホームページの更新 月１回以上
- ・自分が住んでいる地域にあるものやよいところを知っている児童 90%以上
- ・木田小スマートルールが守られている家庭 90%以上

＜業務改善の取り組み＞ **明日の授業に、元気よく笑顔で臨むための「働き方改革」（時間外勤務 月45時間以内）**

・組織で取り組む体制構築　・課題を一人で抱え込まない　・ノー残業デーの遵守　・午前７時以降出勤、午後７時までの退勤の励行　・会議を簡略に　・教材や資料の共有化　・省エネ化　・「業務推進日」を積極的に設ける